

柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 指摘事項に対する回答一覧表

No.	審査会合 実施日	指摘事項	回答状況	資料No.	頁	回答内容
1	2017/3/28	ブローアウトパネルを重大事故等対処設備に位置づけるための設計方針を説明すること。	本日回答	資料2-2	添付資料2 9～13頁	通常運転時と重大事故等発生時において、考慮すべきシナリオ等の前提を整理のうえ、原子炉建屋ブローアウトパネル(開放機能・閉じ込め機能)の外部事象防護方針についてご説明致します。
2	2017/3/28	MCCIの評価において、ドレン配管の傾斜、水を蓄えたサンプとの相対高さ関係を追記すること。	本日回答	資料2-3	40-44頁	ドレン配管管壁の侵食量評価における想定を、ドレン配管の傾斜、水を蓄えたサンプとの相対高さ関係を含めて図示し、ご説明致します。
3	2017/3/28	コリウムシールドが黒色化した部分に対するX線解析結果に基づいて、そこから分かる変化について検討すること。	本日回答	資料2-3	40-23～24頁	試験において実施した分析結果を基に考察した内容について、ご説明致します。
4	2017/3/28	コリウムシールドが黒色化している部分は、犠牲材によって補償するという設計の考え方を追記すること。	本日回答	資料2-3	40-23～24頁	試験において確認された事象及び想定される事故状況を踏まえ、コリウムシールドの設計上の裕度をどのように見込んでいるかについてご説明致します。
5	2017/3/28	通信連絡設備の多様性について、各設備の仕組み、排除している共通要因を含めてまとめ資料へ反映すること。	本日回答	資料2-4	1～5頁	通信連絡設備の多様性について、各設備の仕組みを踏まえ、発電所建屋内において想定される共通要因に対する設計方針をご説明いたします。